

災害発生初期 (混乱を最小限にする)

- 初期の避難場所が体育館であることを事前に周知する。
 - ・事前に町会、自治会、管理組合の話し合いで、第一次避難場所が体育館であること、及び可能な範囲で食料・水等を持ってくることを周知しておく。<混乱を避けるためにまず体育館で落ち着く>
 - ・ステージは、初期の本部にするため、避難場所にしない。
 - ・避難者で、「災害時における避難所運営の手引き」「名簿」等を用意する。
- ◎まず「●」の場所に保管している「避難所運営箱」を開ける。
 - ※入っているもの…避難所運営マニュアル、手引き、名簿、体育館使用スペース等

- 長期化が予想されるときに避難所開設(運営)に向けて準備する。
 - ・避難してきた地域住民による自主運営組織作成準備を進める。
 - ・松戸市避難所直行職員、学校は避難所協力をする。

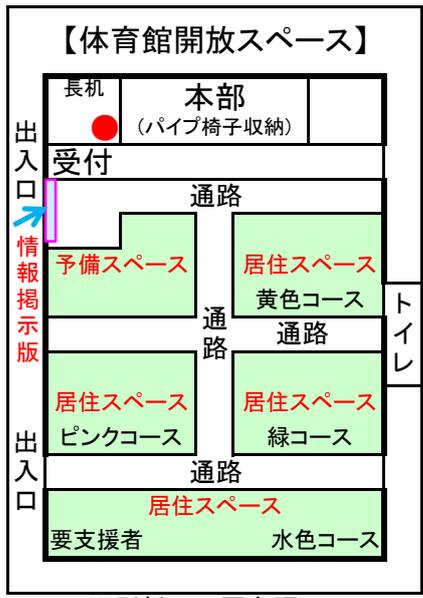
1 避難所運営・開設 自助・共助・公助

「松戸市地域防災計画」及び千葉県「災害時における避難所運営の手引き」を活用し避難所運営をする。
 ※赤い文字で示した頁は、千葉県「災害時における避難所運営の手引き」による。

安全チェック表で安全を確認後、避難者を受け入れる。

1 初期対応	14頁
2 運営組織の設置	17頁
3 活動班運営業務	20頁～
4 運営留意事項	35頁

※市職員・学校は、初期対応に協力する。



※別紙4、5頁参照

3 活動班運営業務 20頁～ 「避難所4」避難者による自主運営組織(組織図参照)

- ・総務班
- ・情報班
- ・施設管理班
- ・食料・物資班
- ・保健・衛生班
- ・要援護者班
- ・支援涉外班(ボランティア班を含む)

「松戸市地域防災計画」(震-82)より
 【自主運営体制の確立】
 自主防災組織や町会・自治会は、避難所運営委員会の設立、リーダーの選出を行い、避難所を自主運営し、避難所担当職員の管理業務に協力する。避難者は、リーダーの下で避難所運営に協力する。

2 避難所の閉鎖

1 閉鎖方針	36頁
2 関係者との調整	36頁

○【新松戸南小学校<想定>】
 「松戸市地域防災計画」より
 ○浸水想定(最大浸水深)2～5m
 ○収容可能人口 872人

【応急救護所が開設される避難所】
 ・馬橋北小学校 ・小金中学校

【広域避難場所】
 ・県立小金高等学校

【浸水想定区域別避難所(新松戸地区の場合)】
 ・小金小学校 ・小金市民センター
 ・小金南中学校 ・八ヶ崎小学校
 ・東漸寺 ・幸谷小学校 ・松戸第三中学校

○優市先から指定される避難所が